

## 基本構想・基本計画の内容 【業務委託仕様書 抜粋】

### (1) 基本構想の検討

#### ① 上位関連計画等の整理

本業務を実施するにあたり、前提となる上位計画等を把握し、本施設の計画における前提条件として整理する。

#### ② 敷地条件の整理

建設候補地を調査し、既存施設の立地状況、周辺環境、建設候補地における法規制等を把握し、敷地条件として整理する。

#### ③ 整備コンセプトの検討

上位関連計画や本町の要望等を整理し、統合小学校の整備コンセプトを検討する。

#### ④ 必要諸室の検討

整備コンセプトを踏まえ、統合小学校で必要となる諸室を検討する。

#### ⑤ 施設規模の検討

新たな学校における整備コンセプト及び将来人口予測等を踏まえた、将来必要となる学級数等の施設規模を検討する。

#### ⑥ 建設候補地の選定

「甲」が提示する2箇所程度の候補地に対して、踏査及び資料等を収集・整理し、各候補地について分析のうえ、総合的な判断を行うための比較検討を行う。

#### ⑦ パブリックコメントの実施支援

パブリックコメントを実施するにあつたての素案の作成、意見の取りまとめ、回答への支援を行う。

### (2) 基本計画の検討

#### ① 施設配置計画の検討

多気地域統合小学校の建設候補地における施設配置計画を検討する(2～3 案程度)。検討にあたっては、周辺環境を踏まえた上で、校舎とグラウンドとの関係性等を踏まえたゾーニングの検討を行い、快適な学校環境を確保するよう検討を行う。

#### ② 建築計画の検討

- 1) 施設配置計画や必要諸室を踏まえ、建物平面図(モデルプラン)を作成する。また、予定地の現況を把握し、統合小学校整備の実現に向けた課題・対応策を考慮したうえで、実現可能な建築計画を検討する。
- 2) 既往資料から現地状況を把握したうえで、安全性能や耐久性能等を考慮した構造計画を検討する。
- 3) 本町は、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロにするゼロカーボンシティ宣言をしていることを踏まえ、公共施設としての環境・省エネルギー性、信頼性および安全性、維持管理の省力化および経済性、災害時における機能継続性等を考慮した設備計画を検討する。

③概算事業費の算定

検討した建築計画を踏まえ、本施設の建設に必要な概算事業費を算定する。

④建替え手順の検討

建設候補地には既存校舎があることから、建設工事の建替え手順を検討する。

⑤事業スケジュールの検討

事業化に向けた事業スケジュールを立案する。

⑥跡地活用事例の収集・整理

統合する学校の立地環境等を踏まえ、今後、跡地活用の方向性について検討していくための跡地活用事例を収集・整理する。

⑦事業手法の比較検討

DB方式・DBO方式・PFI方式の各事業手法の特徴やメリット・デメリットを整理し、最適な事業手法を検討する。

⑧簡易版 VFM の算定

簡易VFMを算定し、PPP/PFI手法を導入した場合の概算の財政負担の削減効果について検討を行う。